

TruPhase の導入(17)
—TANNOY Autograph MINI の音質確認(2)—

1. はじめに

前報(16)に引き続き TANNOY Autograph MINI での音質確認を行います。

2. TruPhase の RCA 入力における動作確認方法

接続は P&G のフェーダーと TruPhase を入れ替え、入力は、ZANDEN Model 120 および Brooklyn DAC+からの RCA 出力を PX-25 シングルアンプに入力します。なお、TruPhase の出力にアナログアキュライザーを使用しています。

音源は、すでに P&G のフェーダーで評価の固まっている次のデジタル音源を使用し、Brooklyn DAC+の条件設定も既知の条件にしています。

放送録画

[演奏会の再現\(5\)](#)

NHK BS3 クラシック倶楽部 2020 年 7 月 21 日放送【収録：2019 年 1 月 23 日】

アンサンブル・ディアーロギ

ハイドン：ピアノ 3 重奏曲

ベートーヴェン：ピアノと管楽器のための五重奏曲

[演奏会の再現\(6\)](#)

NHK BS3 クラシック倶楽部 2020 年 7 月 31 日放送【収録：2019 年 9 月 27 日】

タカーチ弦楽四重奏団

ハイドン：弦楽四重奏曲第 32 番「鳥」

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 9 番「ラズモフスキー第 3 番」

BPODCH

[放送ストーリーミング No.199](#)

アンドリス・ネルソンス指揮ベルリンフィル

マーラー：交響曲第 1 番

[放送ストーリーミング No.202](#)

ベルリンフィル団員

ベートーヴェン：中期弦楽四重奏曲

3. TruPhase の RCA 入力における動作確認の結果

アンサンブル・ディアーロギとタカーチ弦楽四重奏団の演奏は、ともに生演奏を聴いています。

前者の演奏では、生演奏で聴いてきた古楽器の質感がかなりの程度再現できています。

後者の演奏では、弦楽四重奏団らしい緊張感は十分ではありませんが、こぢんまりとまとまった演奏として再現されています。

ベルリンフィルのマーラー1番の演奏は、静逸なピアノのディテールの表現は出来ていますが、フォルテの迫力は、スピーカーのサイズからして限界があります。

ベルリンフィルのベートーヴェンの中期弦楽四重奏曲の演奏は、ラズモフスキーシリーズなどを聴きましたが、タカチ弦楽四重奏団の演奏と同様、こぢんまりとまとまった演奏として再現されています。

4. まとめ

DMR-UBZ1における放送録画再生ならびにBPODCHのストリーミング音源を使用し、Brooklyn DAC+経由でのTruPhaseのデジタル音源再生の音質が確認できました。

以上